

第5回人と自然の共生国際フォーラム フォーラム宣言

- 私たちは、これまで開催したフォーラムで、生物多様性保全の重要性を認識し、森林・里山の保全と循環利用が持続可能な社会づくりに向け重要であることを学んだ。
 - 今年3月の東日本大震災、福島第一原発事故を機に、我々の生活・社会のあり方が根本的に問われている。
 - そして、私たちは文明や生き方を問い直し、人と自然が共生する新たな社会づくりに向け、今まさに変わる時であるとの認識を実践につなげなければならないとの思いを共有した。
 - 第5回フォーラムで、私たちは生き方を語り直し見つめ直すことを出発点に、持続可能な社会を目指して、どのように行動すべきかを議論した結果、以下の宣言を行う。
- ① 歴史に育まれた暮らしの中での人と自然、人と人、地域と地域の「つながり」を新たな価値観として再認識する。
 - ② 里山は人と自然をつなぐ場として、また地域づくりの場として大切であり、その維持保全に努める。
 - ③ 世界と日本で伝えてきた自然を持続的に利用する知恵や生き方に目を向け、グローバルかつローカルに考え、行動する。
 - ④ 自然の循環を壊さない持続可能な社会や地域づくりのために、家庭や地域で自給できる自然エネルギーの活用を追求する。
 - ⑤ フェアトレードの実践やNPOへの参加など、暮らしの中に取り入れられることを見つけ、行動し、その輪を広げていく。

今後、これらのことを広く発信するとともに対話の場を広げ、社会や暮らしを変える決意とともに持続型社会の実現に向けて自らも具体的に行動していくことを約束する。

平成23年10月15日 人と自然の共生国際フォーラム参加者一同

